

## オープン市場短信 (2009年4月)

2009. 4. 10

### ◆3月のCP市場動向

3月のCP新規発行額は約2兆9,400億円で、期落ち(約4兆2,700億円: 当月発行分含む)を約1兆3千億円下回る結果となった(除く、金融機関発行CP・ABCP)。

例年、3月本決算月は一般事業法人が有利子負債圧縮目的でその残高を大きく縮小させる動きがある。しかし、本年は政府・日銀の政策効果により調達環境が改善した1月から2月上旬にかけて、一般事業法人の前倒し発行が多かったことを受け、残高が積み増されていた。その結果、一般事業法人の3月末発行残高(除く銀行・証券会社・ABCP発行分)は昨年を約5,398億円上回った。今期末決算越えの企業資金調達ニーズが、有利子負債圧縮ニーズを優先した結果と捉えられよう。

発行レートは、日銀のCP買い現先オペ・企業支援金融特別オペ等で、市場から前月比1兆円強吸い上げられていたことも影響し、短国流通レートを下回る水準での「官民逆転」現象がa-1格銘柄でも散見されるなど、発行体優位の状況となっていた。年初には、期末の資金繰りが心配されたが、結局3月に入ると期末要因でレートが跳ね上がることも無く、比較的平穏な状態で期を越した。

3月の新発物出合いは、最上位銘柄(a-1+格) 期内物0.14~0.16%、期越え物0.16~0.25%台。一般事業法人(a-1格)は期内物0.16~0.19%、期越え物0.18~1.85%、その他金融銘柄(a-1格)は期越え物で0.29~1.15%であった。

《格付け別の発行レート》

### 3月のCPレートレンジ

(単位 %)

格付	1ヶ月	2ヵ月	3ヵ月
a-1+(オペ適格)	0.160% ~ 0.256%	0.170% ~ 0.200%	0.165% ~ 0.254%
a-1(オペ適格)	0.180% ~ 1.500%	0.190% ~ 1.500%	0.198% ~ 1.850%
a-1+(リース銘柄)	0.200% ~ 0.299%	0.200% ~	0.240% ~ 0.280%
a-1(リース銘柄)	0.320% ~ 1.050%	0.295% ~ 0.888%	0.290% ~ 1.150%
a-2	0.610% ~ 1.650%	— ~ —	— ~ ケ2.50

《CPオペ》

日銀は、潤沢な資金供給に万全を期するため、3月中のCP現先オペはロールと新規分とで9回実施された。オファー金額は合計3兆6千億円に達したが、銀行の資金繰りに余裕が出てきたこともあり、期越物オペは回を追うごとに応札額は減少し札割れが目立ち、足切レートも0.10%まで低下した。

CP買い入れオペは、すべて未達に終わった。前月同様、ディーラーの売却したい銘柄が減少したことや新規発行レートの低下が要因であるが、既に日銀の買入枠が一杯となった銘柄が多くなっていたことも一因である。

### 日銀CP買い現先オペ実績

(単位:億円)

実施日	実行日	期日	オファー金額	応札額	落札額	足切レート	平均落札レート	按分比率
3月3日	3/5	～ 4/2	4,000	5,180	3,950	0.150%	0.171%	全取
3月5日	3/9	～ 3/23	4,000	2,489	2,489	0.100%	0.109%	全取
3月10日	3/12	～ 4/9	4,000	5,382	3,860	0.150%	0.152%	全取
3月12日	3/16	～ 4/27	4,000	4,012	4,012	0.100%	0.146%	全取
3月17日	3/19	～ 4/16	4,000	4,340	3,970	0.100%	0.113%	80.70%
3月18日	3/23	～ 4/6	4,000	5,227	4,147	0.110%	0.122%	全取
3月24日	3/26	～ 4/15	4,000	3,515	3,515	0.100%	0.102%	全取
3月26日	3/30	～ 5/11	4,000	2,459	2,459	0.100%	0.110%	全取
3月31日	4/2	～ 4/30	4,000	2,640	2,640	0.100%	0.112%	全取

### 日銀CP買い入れオペ実績

(単位:億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取 利回り較差	平均落札 利回り較差	按分比率
3月2日	3月5日	3,000	967	967	0.000%	0.061%	—
3月6日	3月11日	3,000	1,097	977	0.000%	0.033%	—
3月11日	3月16日	3,000	503	503	0.000%	0.001%	—
3月16日	3月19日	3,000	1,220	840	0.000%	0.013%	—
3月25日	3月30日	3,000	535	385	0.000%	0.001%	—

(注)残存期間1か月以内の下限利回りは0.300%、1か月超3か月以内の下限利回りは0.400%。

#### 《ABCP》

3月末のABCP発行残高は、約4兆1,089億円と前月比約3,264億円の増加となった。前年同月(約5兆104億円)比では、約9,015億円の減少であった。

#### 《短期社債残高》

証券保管振替機構発表によると、短期社債の3月末発行残高は前月比1兆4,560億円の減少となり、18兆9,906.18億円と4ヶ月ぶりに18兆円台となった。前年同月(20兆2,768億円)と比べて1兆2,860億円強の残高減少であった。

各業態別では、前月比一般事業法人で1兆6,084億円、その他金融法人1,650億円、金融機関95億円の減少となり、ABCPのみ3,269億円と増加した。

格付け別では、最上位格付けが前月比9,470億円減、一般格付け(a-1格相当)が6,541億円減となっていた。ここでも、有力発行体中心に1～2月にかけて、期越えの発行が前倒し気味に進んでいたことが窺える。

発行登録企業490社中、既発行企業はカゴメ・日立金属の2社が初発行を行ない、471社になった。

#### 《現先市場》

月中現先レートは、0.15%前後で落ち着いて推移していた。期越えについては、レポレート等の上昇もあって0.25%を上回る展開となったものの、ロンバート金利を超えるようなことも無く、月中平均レートは0.1455%であった。期末を越えた時点からは、急低下した。

#### ◆ 4月のCP市場動向

4月中のCP償還額は約3兆7,900億円で、前年同月の4兆5千億円を下回っている（除く、金融機関発行CP・ABCP）。

発行環境は、政府・日銀の企業金融支援政策が続くことから、ディーラーの購入意欲が依然として強く、発行レートの低位安定が予想される。

10日現在、発行レートは3M物で最上位格付けでは0.10%台後半、一般事業法人（a-1格銘柄）で0.20%台前半での出合いが確認されている。その他金融では、0.30%台前半から0.40%台となっている。

発行頻度の高いその他金融銘柄や発行量の多い銘柄ではやや上昇地合いとなっているため、a-1格銘柄では発行量が増加すれば、月後半には短国との「官民逆転」現象が解消することもありえる。

##### ＜CPオペ＞

CP買い現先オペは、今月10日までの期日分はすべてロールされた。今後も、現先オペは現在の頻度が淡々と継続されるものと予想する。

##### ＜現先市場＞

足元現先レートは0.13～15%でスタートし若干低下、落ち着いた水準（0.12～0.14%）で推移している。発行が少ないことに加え、インターバンク・レポレートも落ち着いていることから、今後も0.15%割れでの推移を予想する。

#### 参考資料

##### 業種別残高内訳

（単位：億円）

業種	3月末残高	2月末残高	増減
事業法人	71,712	87,796	▲ 16,084
その他金融	54,070	55,720	▲ 1,650
金融機関	23,035	23,130	▲ 95
（銀行等	11,581	13,145	▲ 1,564）
（証券	11,454	9,985	▲ 1,469）
ABCP	41,089	37,820	3,269
計	189,906	204,466	▲ 14,560

（注：買入消却分含む）

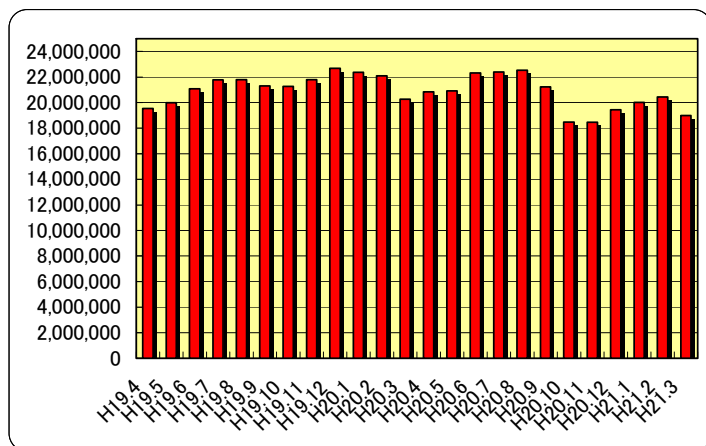
## 短期社債月末残高 (H19年3月～H21年2月)

### ■ 短期社債月末発行残高

3月末発行残高：18兆9,906.18億円

発行登録企業：490社（発行実績あり471社）

（過去2年間の残高を表示）



## 3月末発行残高ベスト20

### 3月末発行残高上位20社

(単位：百万円)

	発行企業名	3月末残高	2月末残高
1	三菱UFJリース	883,900	881,600
2	三井住友ファイナンス&リース	811,600	719,800
3	コンチエルト・レシーバブルズ・コーポレーション	801,490	813,800
4	エイベックス・ファンディングコーポレーション	663,560	535,030
5	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	551,390	459,190
6	三菱商事	498,000	689,000
7	フォレスト・コーポレーション	382,768	275,345
8	シャープ	325,000	322,000
9	大和証券SMBC	320,400	227,200
10	芙蓉総合リース	314,100	307,300
11	東京リース	313,100	333,900
12	野村証券	315,900	303,700
13	日産自動車	305,000	317,000
14	オリックス	302,200	376,100
15	日本政策投資銀行	300,000	300,000
16	中部電力	294,000	220,000
17	日産フィナンシャルサービス	265,000	228,000
18	東芝	259,000	342,000
19	住友信託銀行	248,400	250,100
20	合同会社 エーコンツー	247,300	247,300

太字・・・前月数値横這いか増加

参考出所 (株) 証券保管振替機構